



円山応挙から近代京都画壇へ

と き／11月2日(土)～12月15日(日) 9:30AM～5:00PM
 ところ／京都市立近代美術館美術館 (毎週月曜日と11/5休館)
 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111 (11/4は開館)



上村松園
 『娘深雪』1914年
 (足立美術館蔵)
 (前期展示)

18世紀、円山応挙は様々な流派が百花繚乱のごとく入り乱れる京都において、実物写生の精神に基づいた写生画というジャンルを切り開いた。精緻に描かれた応挙の写生画は、爆発的な人気を博し、円山派という一流派を形成した。四条派の祖である呉春は、初め与謝蕪村に学び、蕪村没後は応挙の画風を学んだことで、応挙の写生画に蕪村の瀟洒な情趣を加味した画風を確立した。応挙、呉春を源泉とする円山・四条派は、塩川文麟、森寛斎、幸野楳嶺等を経て、近代京都画壇を牽引した竹内栖鳳、山元春挙、上村松園等を輩出する。



重要文化財 円山応挙『郭子儀図』
 (全8面のうち4面)
 天明8(1788)年、兵庫・大乘寺蔵 [通期展示]

本展では、応挙、呉春から近代へ至る系譜を追うことで、円山・四条派の全貌に迫るとともに、日本美術史の中でいかに近代日本画へと継承されたのか、これまでにない最大規模でその全貌に迫る。

※前期：11/2(土)～11/24(日) 後期：11/26(火)～12/15(日)

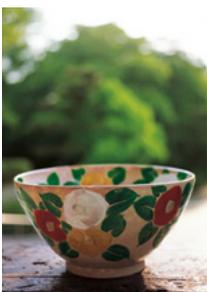
北大路魯山人展—和の美を問う

と き／11月3日(日)～1月19日(日) 10:00AM～6:00PM
 ところ／何必館・京都現代美術館 (月曜休館但し11/4、1/13は開館)
 京都市東山区祇園町北側271 ☎075-525-1311

本年は北大路魯山人没後60年にあたります。京都上賀茂の社家に生まれ、書家、篆刻家として出発した北大路魯山人(1883-1959)は、陶芸をはじめ書・絵画・漆芸・篆刻・金工など、個性溢れる作品を数多く生み出しました。また、美食の追求からその実践の場として「美食倶楽部」、「星岡茶寮」を創設し当時第一級の政治家や財界人、文化人らが集うサロンとして、その名は全国に広まりました。鎌倉の「星岡窯」で、魯山人自身が使うために生み出された器の美しさは、日本だけでなく、海外でも高く評価されています。1954(昭和29)年にニューヨーク近代美術館で「魯山人展」が開催されたのをはじめ、国内外で多くの展覧会が開催され、魯山人の作り上げた美学は没後半世紀を経た今もなお、人々を魅了してやみません。



「閑林」1954年



「つばき鉢」1938年

本展では、厳選された作品約100点を、「陶」「書」「茶」「花」「食」の5つのテーマに分け、古材や更紗、根来などと取り合わせ展示いたします。魯山人の作品は、「使う」ことで一層の輝きを放ちます。生涯をかけて日本の美と食を追求した魯山人の「和の美を問う」という、これまでにない充実した展覧会になります。

○記念出版『和の美を問う 北大路魯山人』3,500円

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1	
		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	祇園祭—四条傘鉾の名宝—																														→12/22	
	3F	道具と材料の職人譜 (11/2～12/22) / 近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝9 (11/2～1/5)																															
	4F	みんなのミュシャ ミュシャからマンガへ—線の魔術																														→1/13	
	5F	第56回 仏教美術 展	第5回 日本・中国 学生書法 合同展 第36回 日本京都・ 中国陝西書画 合同展	第53回 心象書展 —旅・漢代の書—	第31回 工芸美術 創工会展	私風景・心のままに 中井一男展																									第39回 聚英展		
	6F					第22回 竹心展															土岐妍子 書作展												
別館	第31回 建築家展															演奏会	演奏会	佐々木真弓 ステンドグラス展					演奏会	演奏会	演奏会	演奏会	演奏会	貴久樹 天竺展					→12/3
京都学・歴史彩館 左京区下鴨半木町1-29 723-4831	双京 京の夢、江戸の夢 ～館蔵資料に見る、二都の縁(えにし)～ (11/4休館)															「府大生∞歴史彩館 コラボで探る京都学」(仮) (11/23休館)															→12/8		

風土からのアート～土と水と風と (奥田仁・伊勢崎淳・福田淳子 from 岡山県)

と き／10月25日(金)～11月23日(土) 1：00PM～7：00PM
ところ／ギャルリー宮脇 (休廊日10/28、11/5、11、17、18)
京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

同時開催の二つの展覧会「没後20年追悼・奥田仁展」「伊勢崎淳／福田淳子二人展」によって、岡山県の世代も表現方法も異なる3名の作家を紹介する特別企画。

洋画家・奥田仁(1917～1999)は、戦前京都で須田國太郎に師事し、独立美術協会でも有望視されるも戦後は郷里に戻り、会派に属さず、自然や人生を見つめながら独自の油絵表現を確立した。

備前焼の人間国宝・伊勢崎淳(1936～)は、伝統とは革新の連鎖であると唱え、常に冒険心をみなぎらせながら備前焼の可能性を現代に拓き続けている。用途のない物質性の強いオブジェの創作では、現代美術としての表現も追究している。

大学で物理学を学んだ福田淳子(1974～)は、顔料や砂鉄といった鉱物の粒子を水中で動かすことによって表れる、不思議な形や色による未知のイメージを紙上にすくいとして定着させ作品にする。

三者三様の仕事には、おのずと岡山の風土が発現するが、それはいわゆる表面的な「地方色」というものではなく、その土地の自然へと廻行し、その理法の下で、創作者の内奥に深く刻まれた原初的な記憶が引き出されている。

※記念パンフレット『螺旋階段』第110号を刊行。

特別寄稿に、巖谷國士「風土の記憶と再生」、飯島章仁「見えるものを描き続けて～奥田仁の絵画世界～」を掲載。



奥田仁
「トラキアの面、ヴィラノヴァの壺」
10F



伊勢崎淳「溶ける石」
35×70×30cm 2019



福田淳子「stardust_Layer」
39×50cm 2019年

ナイーブな感性で描いた珠玉の作品を一堂に 没後17年・藤田龍児遺作展

と き／11月5日(火)～11月30日(土) 10：30AM～6：00PM
ところ／星野画廊 (毎月曜と11/17休廊)
京都市東山区神宮道三条上ル ☎075-771-3670

1976(昭和51)年48歳の洋画家藤田龍児(京都市に生まれ同志社に学び、大阪に居住)は脳血栓の発作により倒れた。翌年再発。脳切開手術により一命は取り留めたが、言語障害を伴う半身不随となった。しかし画家を諦めることなく、毎日少しずつ歩き始め懸命のリハビリを続けた。画家として利き腕の右手は不自由となり使えなくなったが、絵筆を左手に持ち替えて訓練を続けた。一時は諦めた画家としての道を必死の努力により、5年後、克服し見事に復帰したのである。

1986(昭和61)年の第46回美術文化展に出品した《啓蟄》は、1991(平成3)年の読売新聞日曜版連載「日本の四季」で大きく紹介され、藤田芸術を代表する名作として全国的に知れ渡った。1994(平成6)年には曾野綾子著『夢に殉ず』の上下本の表紙絵に《オーイ野良犬ヤーイ》が採用された。

その後もファンタジーに遊ぶ童画調の作風で多くのファンを魅了し続け、2002(平成14)年に74歳の生涯を閉じた。昭和の時代を生き抜き、昭和の良き時代の残像を絵筆により切り取って絵の中に封じ込めた作品の数々を遺して。

今回の遺作展では初期から最晩年までの出品作をはじめ、各時期を網羅する作品76点を一同に展観するものです。それらは単なる素朴風絵画とは一線を画し、日々発展し続ける現代社会へのアイロニーを秘め、昭和の良き時代への思慕に溢れる独特の世界であることが露わになります。是非ご覧ください。



「連なる煙突」
1992年 第52回美術文化展



「啓蟄」
1986年 第46回美術文化展



「静かなる町(2)」
1998(平成10)年 第58回美術文化展

「竹杖ノ会」

と き／11月6日(水)～20日(水) 10:00AM～6:00PM

ところ／村田画廊 (会期中無休)

京都市左京区松ヶ崎和泉川町18-4 ☎075-703-8960

「淡々と凛々と」20代の頃の私にはその感覚が正直よく分からなかった。「淡々」が冷めた印象で寂しく感じた。数年前に福島の枝垂れ桜をスケッチした。どんな環境の時も淡々と、どのような恵みにも泰然と同じ場所で咲く姿に淡々と凛々と在るには静かな意思と全てを受け入れる覚悟が要るのだと教えられた。(吉田真理子)

惹かれるまま、心の向くままに、ただ描く。

私の希求するもの、無垢、調和、自由…、直接的でなくても、絵の中に描けていたら、と思います。(和田ひとえ)



長谷川雅也「流路」



マツダジュンイチ
「面」



吉田真理子「待つ」



寺村里香「秋明菊」



若狹 悌尚「薫風」



和田ひとえ「芦有の山」

やきセサリーマルシェ ー京・陶・飾ーceramic×fashion

と き／11月15日(金)～11月20日(水) 10:00AM～6:00PM

ところ／京都陶磁器会館 (木曜日休館) 京都市東山区東山五条上ル ☎075-541-1102

第61回 京都色絵陶芸

と き／11月22日(金・祝)～27日(水) 10:00AM～6:00PM

京都工芸繊維大学野口研究室(インテリアデザイン)が空間演出する、陶器をつかったアクセサリーのマルシェです。

「京焼を楽しく知る」をコンセプトとして掲げています。京都で生まれる陶磁器の魅力を、アクセサリーという身近なもので表現することで、より多くの人に京焼の魅力を伝えることができたらと思っています。アクセサリー作家は京都を拠点に活動しており、その多くはうつわや花器なども製作しています。パーツから思い描くものを生み出すことのできる、陶器のアクセサリーは、多くの工程を要しますが、一つ一つが手作りのため、それぞれに独特の味わいがあります。

美術品を身に着ける感覚で毎日使って頂く事で、あなたの毎日を彩ります。自分へのご褒美に、誰かへの贈り物に、ちょっとした手土産に、「とっておき」を選んでください。

出品予定作家：

ayako.ceramics (小川文子)

katou kumiko (加藤久美子)

このは陶房 (佐藤健太)

花本 幸

Käthe

(カーテ 仲山和紀)

KiKi (細川 恵)

ZIPANGO

(入江孝典)

芙蓉窯せらみ屋

(藤原美由美)



京焼・清水焼の色絵の技法を広く披露する展示会、「京都色絵陶芸展」を開催致します。

皆様のご協力のもと、今年で61回目を迎える本展は、日々の仕事に飽き足らず、探求心を忘れずに創作し続ける当組合の作家や職人たちの展示販売会です。しっかりと伝統を継承したものや、現代的な新感覚のデザインなど、後世に伝えていきたい作品が一堂に展示され、皆様の心を魅了することでしょう。

また、新元号「令和」にちなみ、皇室の慶事によくお使いになられる「ボンボニエール」をテーマに、工夫を凝らした色とりどりの作品も披露致します。展示場1階には審査対象の作品類と受賞作品、2階にはお求めやすい秀作などが並び、まさに一見の価値あり、ぜひお越し下さいませ。(京都色絵陶芸協同組合)

主催：一般財団法人京都陶磁器協会

京都色絵陶芸協同組合

後援：京都府

京都市

京都商工会議所

京都陶磁器卸商業組合

京都陶磁器協同組合

連合会

京都新聞



会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1
		金	土	(日)	(月)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	(土)	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)
企 画廊 えんじゅ	東山区三条通古川町東入ル 050-3557-1723	休廊																														
企 画廊 後素堂	中京区新町丸太町下ル 231-0938	貸画廊受付中																														
企 画廊 たづ	東山区神宮道三条西入ル 771-8225	日本画常設展 (日・祝 休廊)																														
貸 ざおんギャラリー八坂	東山区祇園町南側 525-1717	洋服とアクセサリー (廣瀬光美)															陶・イラスト-浦本紀子 イラスト・フラワーアレンジ ふじわら・まつこ 銅版画・イラスト-キムラトモミ															
貸 喜聞堂アートのスペース余花庵	京都工芸繊維大学 中野研究室 伝統の虫 vol.12 中京区寺町通御池上ル 212-9793	龍村光峯織物展															TARA BLANCA (カシミール・ストール)															
企 貸 ガラリー 梧桐	左京区向崎南側所町40 090-7849-6944	常設展示																														
企 貸 ガラリー M	中京区錦薬師高倉西 221-0979	京の紅葉と落語を描く展 (松本祐佳)															サントリーニとニース展 (松本祐佳)					研修旅の為 休廊										
企 貸 ガラリー かもがわ	上京区堀川出水西入 432-3558	貸ギャラリー受付中																														
貸 ガラリー 祇園小舎	東山区四草通繩手東入 551-3828	フランス・ロアール水彩画 堀園展	横田尚子 糸展					第11回 むねの会展					清水光美 パステル・水彩画会教室展					風と森の作品展														
貸 ガラリー 吉象堂	中京区三条柳馬場東 221-3955	グループ 万華鏡 第8回展	同窓会、私達の51年展 京都美大日本画科卒生					還暦記念 松田正洲能面展					第21回丸池'69展 京都美大日本画科卒生					鴻楽会														
貸 企 ガラリー Create洛	中京区丸太町通堺町角 708-7898	鶴田憲次 門川 昭子二人展 (洋画)	中井英夫 展 (洋画) (月曜休廊)															島崎陽子 展 (洋画)					池田良則 展 (エチュード)									
企 Gallery G-77	小川通丸太町下ル 090-9419-2326																															
企 貸 ガラリー K	中京区寺町二条下ル西側 255-7818	佐藤哲生 展															則武ヤスヒロ 展															
会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1
金	土	(日)	(月)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	(土)	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)		
貸 企 ガラリー 恵風	1F 林正巳 展 (平面) 2F 国際交流総合展 に7チユル・ミニギイ展	奥田 博士 展 (陶芸)					「風袋引」(版画・リトグラフ) (月曜休) 生嶋順理、出原 司、遠藤竜太、大坂秩加、櫻井想					清水 美三子、永井研治、松元 悠					邵婷如 (陶芸) (月曜休) キャサリン・サンドナス、宮本ルリ子、森本新平展 (陶芸、木工)															
貸 企 ガラリー 胡々湾	東山区神宮道三条上ル 090-8367-1460	平田有加 水彩画展 (貸画廊受付中)																									ワイヤーアート 色鉛筆画					
貸 企 ガラリー 佐野	中京区寺町錦薬師西北角 221-2767	片山雅美 展 (赤織部)	第9回 韓流展 (Photo) Lee,Won-Chul					Toh展 (日本画グループ展)					第10回韓流展 (平面)					日本板画院 近畿支部展														
企 ガラリー 三条祇園	中京区寺町通御池上ル 221-6401	11/14~11/16、11/21~11/23 春画で見る浮世絵の魅力 その四 (完全予約制・お問い合わせください)																														
企 ざらりい 思文閣	東山区古門前大和大路東入 761-0001	常設展																														
企 ガラリー 白川	東山安井東一筋日南 532-2616	常設展 (ケージ、ソル・ルウィット、舟越、大野、片山ほか)																														
貸 ガラリー 翔	左京区北山通下鴨中通東 724-8154	橘高美保子 作品展	黒川扶子 日本画展 (日本画 他)					黒田さかえ 作品展 (絵画)					ステンドグラス アトリエ SIX 生徒作品展					玉城和美の描き絵空間 展 (バック・ショール他)														
貸 企 ガラリー 16	東山区三条通白川橋西入上ル 751-9238	佐々木 よし明展「よもぎょう」 (絵画) (月曜休廊)					punto・study・exercise (月曜休廊) (シェアスタジオ「punto」のメンバーが写真を元にしたある種のスタディを試みる)					加藤隆明 個展 ・Affinity/Awe・ (豚の真度による立体インスタレーション)																				
貸 ガラリー Space 妙	左京区松ヶ崎町1-1 090-6605-0656	樋口 愛-いのちきらきら- (平面) (11時~18時)					Sae-あなた- (映像&インスタレーション) (11時半~18時半)					2019 口覚反応実験展 第6回「キラキラ」 (12時~18時 最終日17時まで)					視の勝 (陶芸) (12時~18時)															
企 ガラリー 一創	中京区河原町御池上ル 251-0522	日本画・洋画・古書画常設展																														
貸 企 ガラリー 象鯨	中京区姉小路柳馬場東 253-0738	常設展 (貸ギャラリー受付中)																														
企 貸 ガラリー TAJIRO	東山区糺手通新橋下ル 0774-27-1733	第4回 黒川しづこ 透明水彩画展	妙 凛 紙の結晶の世界展 -カレンダー展					絵室 画	水墨 画	高田竜介 陶芸展					絵室 画	水墨 画	-選(ふりかえる)- Fantasy art/cat art etc. MAMARI															
企 ガラリー 鉄齋堂	東山区新門前東山西 531-6164	常設展 (近代絵画・軸装・額装) 6日、9日、18日、19日、28日、29日休廊																														
貸 企 ガラリー 富小路	下京区富小路綾小路下ル 090-7095-0576																										九十九 惟一 クラウドマン IN 京都展					
企 ガラリー なかむら	中京区姉小路河原町東 231-6632	佐野 賢 展 (彫刻) (月曜休廊)															砂押 かほる 展 (洋画) (月曜休廊)															
企 貸 ガラリー 中井	中京区木履町三条上ル 211-1253	高谷光雄 展	野村昌司 展					TOMOKO SAKAOKA exhibition いつもの場所-フィレンツェからのテンペラ画					塩野屋とメイド・イン・アース (絹・綿オーガニックコラボ展)					長谷川 喜男 展														

【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事に掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1				
				金	土	(日)	(月)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	(土)	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)				
企	ギャラリー白梅園 北区北野上白梅町63 461-0427	白崎信子ガラス作品展																																				
貸企	ギャラリーヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F 2F	日下部直起展 (油、テンペラ)	海野厚敬展			新制作協会 関西会員展			25人の絵展 京都造形芸大洋画 通信課程教員			秋口悠子展(独立会員)			千明展(木版)																						
企	ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	日本画常設展																																				
貸企	ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F 4F 5F	新田 健(平面) (月曜休廊)			リトグラフ			梅澤 豊・山中 隆(立体・平面)(月曜休廊)			寺澤 静(テキスタイル)			久谷 葛枝(陶)																							
貸企	ギャラリーみすや 中京区三条河原町西入 211-5997	豊旗会 (ジュエリー)		サイガカイ 彩霞会(日本画)			山根須磨子個展 (水彩・パステル)			内本二人展 (七宝・写真)			花夢展			シルバー 文化祭																						
貸企	ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	寄神盛衛 「BAG」展 (月曜日定休)		こうのなつ美展 -水鏡-			高木 唯可 水彩画展			3人展 生島唯子・アクリル画、上野ネミ・アクリル画、 首藤成利・木彫立体コラージュ			陣七海～世界で唯ひとつの帯地バック展～																									
企	ギャラリー洛中洛外 山科区清水焼団地内 595-5450	陶芸作品常設展																																				
貸企	ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700	龍馬追悼展(10:30~17:00 水曜休廊)												龍馬祭	龍馬追悼展(10:30~17:00 水曜休廊)												→12/3											
企	ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	常設展(水曜日休廊)												大道正男 陶展(水曜日休廊)																								
企	ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321	風土からのアート～土と水と風と～(11/5、11/11、11/17、11/18休) 奥田仁・伊勢崎淳・福田淳子 from 岡山県																																				
貸企	ギャラリー百音(もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138	秋の茶道具 or 天田毅陶芸 or アンティークマイセンカップ&ソーサー展 11日(月)、18日(月)、25日(月)休廊																																				
企	現代美術 艸居 東山区門前大和大路東入 746-4456	小島修「群青と真朱」(日・月休廊)																																				
貸企	京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	貸ギャラリー受付中																																				
企	京都芸大ギャラリーアーク 中京区御池通堀川東入 253-1509	これからの 図書館		漆工(塗装)専攻の今熊野時代・沓掛時代を振り返る																																		
会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1				
				金	土	(日)	(月)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	(土)	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)				
企	京都芸術センター 中京区室町蛸薬師下ル 213-1000	Tim Satomi exhibition 刺繍																																				
企	京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305	常設展(水曜休館)																																				
貸企	京都写真美術館 東山区神宮道三条上ル 746-2931	1F 1F 2F 2F	滝原逸郎《KE・ON FALLS IN NIKKO》			西田茂雄《ソロモンの 秘宝発見に挑んだ男》			大町憲治詩絵師の視点 Part 2《Contrast》			Dirk Lambrechts《I am this》			蒼樹《音楽・人・人生》			西田塾《麻友ちゃんに》			KYOTO FOTO SHOP 展			→12/11														
企	京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	1F 2F	川貴生 陶展			谷内由倫子 陶展～いとおいしい色たち～ (木曜休館)			第61回 京都色絵陶芸 展			伊藤 竜也 陶展			わん・碗・ONE展～次代を担う若者の 作品展～(11/7(木) 臨時開館)			やきセサリー マルシェ			瀬津 純司 陶展			→12/11														
貸企	京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902	第25 京都漫画 会 グループ展		ヤマトアートカレッジ 認定講師作品展			安本義久 展																															
貸企	堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	橋本明子 日本画展		與倉 玲 個展 (テンペラ)			マトマイニ フェルトアニマル展と お話			鄭 琪滿 作陶展			伊藤五美 作陶展																									
貸企	里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423	貸画廊受付中																																				
企	蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232	常設展(4日・23日・日・祝休廊) ※画廊移転準備の為詳細未定																																				
企	大雅堂 東大路通祇園上ル 541-7388	常設展																																				
企	梅軒画廊 中京区烏丸四条上ル 221-3510	～11月中常設展～(日祝休み)																																				→12/8
貸企	ポルタギャラリー華 下京区京都駅前地下街 365-7533	京都芸術祭 美術部門 国際交流選抜ポルタギャラリー華展												竹内 昌二 日本画展												お茶を楽しむ 陶・漆・硝 三人展 稲澤隆生・加藤友里・黒田敬子												
企	星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670	常設展		休廊		没後17年 藤田龍児遺作展・ナイーブな感性で描いた珠玉の作品 (毎月曜と11/17(日) 休廊)																																
企	松本松栄堂 中京区寺町夷川上ル 212-0626	新古書画常設展																																				
企	村田画廊 左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960	常設展		竹杖ノ会 寺村里香・長谷川 雅也・マツダジュンイチ・吉田 真理子・若狭悌尚・和田ひとえ(会期中無休 10時～18時)												常設展(火曜日・祝日 休廊)																						

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内(☎222-0895) http://www.kyoto-art.net/
 (京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中) 1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊(☎771-3670)まで振込用紙をご請求ください。